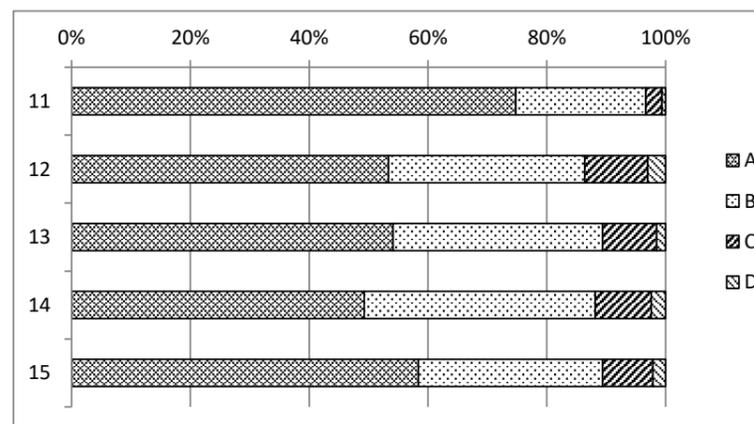
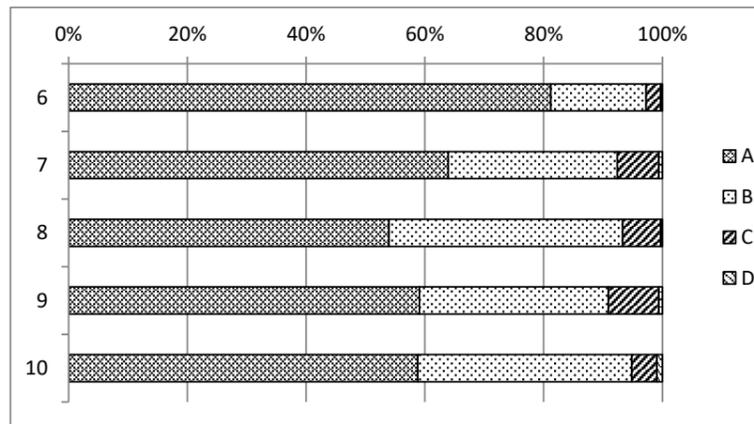
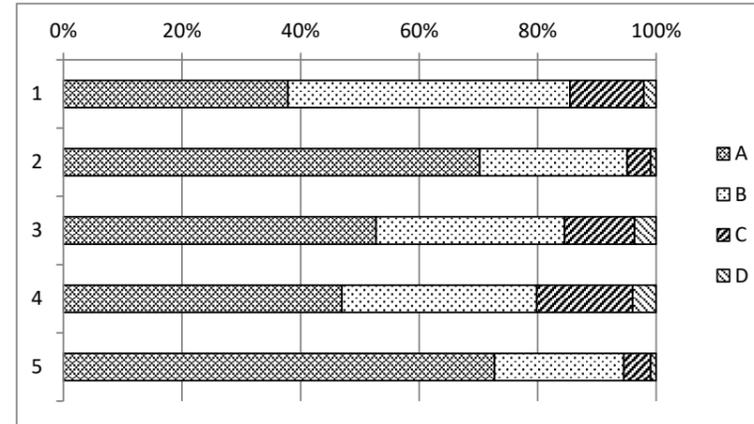


令和2年度「よりよい学校づくりアンケート」学校評価アンケート結果(児童アンケート)

回答者数:330名

		A	B	C	D	合計
1	「やさしく かしく たくましく」の合い言葉を意識して生活していますか。	125	157	41	7	330
		37.9%	47.6%	12.4%	2.1%	100.0%
2	友だちにいじわるやいやなことを言ったりやったりせずに、なかよく生活していますか。	231	82	13	3	329
		70.2%	24.9%	4.0%	0.9%	100.0%
3	きゅうしょくや朝ごはんなどは、好き嫌いなく食べていますか。	174	105	39	12	330
		52.7%	31.8%	11.8%	3.6%	100.0%
4	進んで読書活動に取り組んでいますか。	154	108	53	13	328
		47.0%	32.9%	16.2%	4.0%	100.0%
5	先生は、ていねいに相談にのったり、教えたりしていますか。	240	72	15	3	330
		72.7%	21.8%	4.5%	0.9%	100.0%
6	先生は、熱心に授業に取り組んでいますか。	268	53	8	1	330
		81.2%	16.1%	2.4%	0.3%	100.0%
7	学校に楽しく通っていますか。	211	94	23	2	330
		63.9%	28.5%	7.0%	0.6%	100.0%
8	学校での勉強の内容は、よくわかりますか。	178	130	21	1	330
		53.9%	39.4%	6.4%	0.3%	100.0%
9	学校行事や学習活動に進んで参加していますか。	195	105	28	2	330
		59.1%	31.8%	8.5%	0.6%	100.0%
10	困っている人に声をかけたり、助けたり、人がいやな気持ちにならないように生活したりしていますか。	194	119	14	3	330
		58.8%	36.1%	4.2%	0.9%	100.0%
11	地域の方々にめいわくをかけず、公共の場でマナーを守って生活していますか。	246	72	9	2	329
		74.8%	21.9%	2.7%	0.6%	100.0%
12	自分から進んであいさつをしていますか。	176	109	35	10	330
		53.3%	33.0%	10.6%	3.0%	100.0%
13	時間を守って生活していますか。	178	116	30	5	329
		54.1%	35.3%	9.1%	1.5%	100.0%
14	正しいことばづかいで生活していますか。	162	128	31	8	329
		49.2%	38.9%	9.4%	2.4%	100.0%
15	宿題や家庭学習に進んで取り組んでいますか。	192	102	28	7	329
		58.4%	31.0%	8.5%	2.1%	100.0%



今年度より、「よりよい学校づくりアンケート」児童アンケートを新たに実施することとした。保護者・職員アンケートと共通の項目は、問3「食習慣」以外の設問である。

- ・児童が高く評価している点は、以下の3点である。(A評価が半数を超え、且つ95%以上肯定的なもの)
- ①問2 いじめのない学校づくり
- ②問6 子どもへの熱心な学習指導
- ③問11 公共の場でのマナー

- ・児童が不十分な点もあると感じている点は、以下の3点である。
- ①問3 食習慣
- ②問4 読書活動
- ③問12 挨拶

問2「友だちにいじわるやいやなことを言ったりやったりせずに、なかよく生活していますか。」の項目では、多くの児童が肯定的な回答をしている。友だちとなかよく楽しく学校生活を送ろうとしている児童の姿がうかがわれる。

問6「子どもへの熱心な学習指導」の設問は、肯定的な評価が97.3%と15個の設問のなかで最も高く評価している点である。保護者・職員による高評価とも共通している。若年層教員が増えるなか、校内研修に力を入れ、一人一人の教員の授業力向上を目指して取り組んできた成果であろう。今後も、児童が「わかる・楽しい」を実感できるよう授業力を磨いていきたい。

問11「公共の場でのマナー」は、保護者・職員が課題と感じている結果と対極の高評価となった。児童自身は、交通ルールや公共の場でのマナーを守って生活をしていると感じているようであるが、学校に寄せられる声は、必ずしも好意的なものばかりではない。引き続き保護者と協力し、地域の教育力も得ながら地域に愛される子どもたちに育てていきたい。

問4「読書活動」について、否定的な回答が全設問中最も多かった項目である。読み聞かせや音読、市民図書館とタイアップした「よむよむラリー」の取り組みなど、児童が読書に親しめるような様々な機会を提供してきた。しかし、児童の評価結果を見るとまだまだ十分とは言えない。読書習慣は、幼少期からの家庭での読書環境が大きく影響することから、保護者との連携をより図ってきたい。

問3「食習慣」、問12「挨拶」は、学校教育だけではなくなかなか改善できるものではなく、今後も根気強く子どもを取り巻く学校・家庭・地域が協力してよりよく子どもたちを育てていく必要がある。